

商工観光部

平成30年度重点目標

- 1 地方創生に向けた地域産業の活性化と地域未来投資の取組支援
- 2 UIJターン促進と若者等就職支援及び人材育成、雇用マッチング促進
- 3 地方創生に向けた創業支援及び企業誘致・留置の推進
- 4 持続的な観光地を目指す「稼げる観光」の推進
- 5 中心市街地の活性化と中心商店街への回遊促進

重点目標	地方創生に向けた地域産業の活性化と地域未来投資の取組支援		部局名	商工観光部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第2節 地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 1 上田で働きたい戦略 施策体系①地域経済雇用を牽引するものづくり産業の振興		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住みたいと思うまちづくりへの改革 ウ 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・経済、雇用を牽引する基幹産業である製造業の技術力の集積とARECを拠点とする産学官連携の取組みが特徴であり強みでもあります。このためARECを中核とする各種産業支援機関との連携により、次世代に向けた工業活性化の取組みを進め、しごとづくり及び雇用の確保を図ることが必要となります。また、経済のグローバル化に伴い、大手メーカーの海外現地生産化等が進んでいる中、下請け企業は生き残りをかけ、販路拡大や研究開発型企業へと展開を図る必要があるため、幅広く、かつ、きめ細かな企業支援が求められています。 ・地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦する取組（地域未来投資）が活発になることで、地域経済における稼ぐ力の好循環の実現が期待されています。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携による他市町村の多種多様な企業間の連携を推進し、地域経済の足腰を強くするとともに、既存産業の維持確保のみならず、次世代へとつながる新たな産業創出の支援、並びに雇用の創出を図ります。 ・販路開拓や農商工連携による6次産業化などに意欲的に取り組む中小企業者に対する支援を充実することで、中小企業の経営力の強化を図ります。また、中小企業の資金繰り支援である制度融資について、企業ニーズや経済情勢を踏まえたうえで弾力的に運用することで、中小企業のセーフティネットを充実します。 ・地域経済や雇用に関する関連機関との合同会議、各企業への経営実態調査や専門家派遣による事業所訪問等により、情報収集及び情報発信を図るとともに、支援プランを推進することで伴走型の商工業支援を図ります。 ・地域経済牽引事業計画に基づく設備投資や生産性向上特別措置法の導入促進基本計画に基づく設備投資による固定資産税減免などの優遇制度を創設します。 					
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① 東信州広域連携による次世代産業創出支援 (1) 連携市町村による推進体制の整備 (2) 次世代産業創出に向けた事業の推進	(1) 5月 (2) 通年	(1) 協議会開催（5月） (2) ①次世代産業創出に向けた開発プロジェクト（1分野）②企業の経営基盤を高めるための人材育成事業（20回）人材確保事業（6回）③技術展示会（ものづくりパートナーフォーラム）（2回）④大学研究シーズとのマッチング会（1回）、中核企業見学会（2回）	(1) 協議会の開催（5月） (2) ものづくりパートナーフォーラム開催（1回9/6）、エリア内企業の人材育成事業（技術講演会・セミナー4月～9月 20回）、人材確保事業（1回6/13）、首都圏等大学知財群活用した研究シーズとのマッチング会（1回10/16予定）、中核企業見学会（1回5/24）、次世代成長産業開発プロジェクト立上げ（健康医療分野1件）、首都圏・地元企業とのマッチング11回、トップセミナー（1回6/7）エリア内コーディネーター連絡会議（2回10/10、11/1予定）、東信州プラン周知（14回4月～9月）、HPによる情報発信（随時）	(1) 協議会の開催（5月） (2) 次世代成長産業開発プロジェクト立上げ（健康医療分野1件、農業分野1件）、ものづくりパートナーフォーラム開催（1回9/6）、エリア内企業の人材育成事業（技術講演会・セミナー4月～3月 38回）、人材確保事業（6月～3月 4回）、首都圏等大学知財群活用した研究シーズとのマッチング会（1回10/16）、中核企業見学会（2回）、首都圏・地元企業とのマッチング14回、市場マーケティング調査16回、トップセミナー（2回）エリア内コーディネーター連絡会議（4回）、東信州プラン周知（20回4月～3月）、HP・LINEによる情報発信（随時）		
② 意欲ある中小企業のきめ細やかな経営支援 (1) 商工団体・産業支援機関等との連携による販路開拓・受発注等、並びに各企業の産業展等出展支援 (2) 金融機関と協調した融資の強化	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 中小零細企業の経営支援に向けた新制度の検討、3商工団体連携による共同出展の実施（6回以上）域内外受発注マッチング等130件以上、産金官連携事業による新分野等進出支援（3件）、販路拡大補助金による支援（30件以上）産業支援機関連携による共同出展2回、専門家派遣企業数10社、ものづくり補助金等国申請支援 (2) 融資実行300件	(1) 中小零細企業の資金繰り支援について、庁内会議を開催（2回）、方向性を検討、3商工団体連携事業の共同出展は後期に実施予定、産金官連携事業による新分野等進出支援（3件）、販路拡大補助金（27件）、相談体制共同出展（1回：第22回機械要素展6/20～22）、専門家派遣企業数12社、ものづくり補助金等国申請支援14件 (2) 融資（84件）	(1) 迅速かつ返済負担軽減で資金調達できる制度融資メニューの新設及び新規開業資金利用対象者の拡大、3商工団体連携事業の共同出展（38件）、産金官連携事業による新分野等進出支援（4件）販路拡大補助金（35件）ものづくり相談体制共同出展（2回：第22回機械要素展、彩の国ビジネスアリーナ）、専門家派遣企業数8社21回、ものづくり補助金等国申請支援18件 (2) 融資（213件）		
③ 信州上田ブランドのブランディング促進 (1) ブランディング支援補助金による新商品開発、マーケティング、農商工連携等支援	(1) 4月～3月	(1) 地酒、上田鮎、農民美術、加工食品等（10件）、銀座NAGANO・東日本連携による大宮市の大型店舗・ふるさと交流ショップ台東等のアンテナショップ等の有効活用	(1) ブランディング支援補助金 桑の実ドリンク等1件、上田鯉1件、大豆バー1件、農民美術1件、野菜乾燥スープ1件、地酒1件（申請支援中）、銀座NAGANO等の有効利用を検討中	(1) ブランディング支援補助金（農民美術、野菜スープ、アップルティー、上田産大豆商品、上田産桑の実商品、信州クラフトバック、川魚使用イタリアン開発と上田鯉養殖7件）、さいたま市との連携の中で新製品発表、三井住友銀行東館（東京都千代田区）での市産品販売・PR		
④ 関係機関との連携等による実態把握及び支援 (1) 商工会議所・金融機関との連携による企業の生産性及び経営力向上支援 (2) 経営支援や雇用支援に係る関係機関との連携 (3) 経営実態調査や企業訪問による地域経済の情勢把握の充実 (4) 情報発信の充実 (5) 買い物弱者実態調査の実施	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 (5) 4月～3月	(1) 商工会議所・金融機関との連携による企業訪問（40件） (2) 地域経済雇用合同連絡会議開催（4回）中小企業振興センター・よろず支援拠点・JETRO長野等との連携 (3) 経営実態調査の実施（2回）企業訪問（300件） (4) メールマガジンの発行（月2回以上） (5) 買い物弱者実態調査の実施	(1) 商工会議所・金融機関との連携による企業訪問（4件） (2) 地域経済雇用合同連絡会議（2回）中小企業振興センター等とは関係案件が出てきた時に随時相談及び連携し企業支援の実行 (3) 経営実態調査の実施（1回）、企業訪問（261件） (4) メールマガジンの発行（月2回） (5) 買い物弱者実態調査の検討	(1) 商工会議所・金融機関とのキャラバン隊による合同企業訪問（5件） (2) 地域経済雇用合同連絡会議（4回）中小企業振興センター等とは関係案件が出てきた時に随時相談及び連携し企業支援の実行 (3) 経営実態調査の実施（2回）、延べ企業訪問（464件） (4) AREC・イノベーションセンターと県内5金融機関との包括連携協定締結、地域未来投資促進法に基づく東信州連携支援計画策定、メールマガジンの発行（月2回）実施 (5) 買い物弱者実態調査の実施方法を検討		
⑤ 企業の設備投資のインセンティブの充実、地域未来投資の促進 (1) 生産性向上特別措置法に基づく税制等優遇措置の創設 (2) 地域未来投資促進法に基づく設備投資への優遇措置の創設、地域未来牽引事業計画策定の支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 基本計画の策定、固定資産税（償却資産）の軽減に関する市税条例の改正 (2) 固定資産税（土地、家屋）の軽減に関する条例の制定、地域未来牽引事業計画策定支援（随時）	(1) 生産性向上特別措置法に基づく基本計画の策定・同意、固定資産税の特例措置を設ける条例改正の実施（6月）。企業の計画認定50社。 (2) 地域未来投資促進法に伴う固定資産税の特例措置の検討。	(1) 生産性向上特別措置法に基づく基本計画の策定・同意、固定資産税の特例措置を設ける条例改正の実施（6月）。企業の計画認定89社。 (2) 地域未来投資促進法に伴う固定資産税の課税免除に関する条例創設。地域未来牽引企業（H30：3社認定、合計：9社）		
事項 特 項 記	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			

重点目標	U I J ターン促進と若者等就職支援及び人材育成、雇用マッチングの推進		部局名	商工観光部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第4節 安心して働ける環境づくりと雇用創出		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 1 上田で働きたい戦略 施策体系 ② 人材育成・雇用マッチングの拡充		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住みたいと思うまちづくりへの改革 ア 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立					
現況・課題	・地域の雇用環境は、ハローワーク上田管内(3月)の有効求人倍率が1.66倍となり、高い水準を維持しています。安定した職業に就けない若者等求職者も見受けられる一方、人材不足に苦慮する事業所も見受けられ、引き続き、就労支援施策及び求職者と事業所との雇用のマッチングの充実が一層求められています。 ・人口減少対策(地方創生)が喫緊の課題である中、移住の重要なポイントとなる仕事探しに対する積極的な支援が必要となっています。					
目的・効果	・民間事業者と連携した「U I J ターンと地域若者等定住就職支援事業」の実施により、首都圏等の移住希望者に対する就職支援を通じて、移住しやすい環境を整えるとともに、地域若者等を安定した正規雇用に結びつけ、市内定住を促します。 ・上田職業安定協会等関係団体と連携し、学卒者に対する合同就職面接会、インターンシップ等の機会を提供するとともに、SNSを活用し地域企業の情報を届け、一人でも多くの学生を地域企業の正規雇用へ導きます。 ・上田市版ハローワーク(就労サポートセンター)における専門員による労働・就職相談や求職者支援、再就職支援のための各種セミナー開催、職業訓練センターへの支援を通じて、職種や能力・技能のミスマッチを解消し、円滑な雇用マッチングを図り、雇用の維持・安定につなげます。					
取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)		
① ○民間人材派遣会社との連携によるUIJターン促進事業と若者定住就職支援事業の推進 (1) UIJターン希望者の地域企業就職及び移住支援 (2) 様々な事情で職に就けない地域若者等の人材育成・就職支援	(1) 6月～3月 (2) 6月～3月	(1) 移住・就職相談者数100人、UIJターン希望者の地域企業への就職(移住)20人 (2) 座学研修及び職場体験研修の実施による受入研修生の地元企業就職20人	(1) UIJターン希望者の就職相談64人 うち14人就職内定 (2) 地域若者等定住就職支援事業 第1期研修生10人受入	(1) UIJターン希望者の就職相談106人 うち31人就職決定 (2) 地域若者等定住就職支援事業 第1期研修生9人受入 うち9人就職先決定 第2期研修生11人受入 うち9人就職先決定		
② ○若年者の就職支援の推進 ・職業安定協会事業の充実 (1) 学卒者就職面接会等の開催 (2) 高校、大学等及び学卒者に対する地域企業に関する情報発信及び学生の職場体験及び事業所見学 (3) 若年者の就業・社会復帰支援 (4) 東信州広域連携による地元就職支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月	(1) 就職面接会3回、企業が「イターン」2回 (2) 首都圏等の大学等650校に企業情報誌を配布、LINE(SNS)による就職・地域の情報発信、インターンシップ事業受入200人、事業所見学会参加400人 (3) 就職個別相談3回/月、就職支援セミナー15回、若者求職者への「カネリンク」等の実施による進路決定者25人 (4) 首都圏等大学との連携協定締結検討(地域企業見学会、学内就職セミナー、インターンシップの受入等)	(1) 企業が「イターン」1回(5月11日・109人)、就職面接会1回(7月6日・57人) (2) 首都圏等大学等への企業情報誌配布590校、LINE(SNS)による就職支援情報発信、高校生・大学生インターンシップ(193人)、高校生事業所見学会(6月7日・15校363人) (3) 就職個別相談18回(32人)・支援セミナー8回(107人)、自立支援「カネリンク」及び保護者面談の実施、奨学金助成制度の検討(庁内会議2回) (4) 首都圏大学訪問及びLINE名刺配布(11月中旬予定)、オンライン就職説明会(3月予定)	(1) 企業が「イターン」就活フェア2回(5月11日・109人、3月8日・84人)、就職面接会2回(7月6日・57人、10月22日・72人) (2) 首都圏等大学等への企業情報誌配布590校、LINE(SNS)による就職・地域情報発信、高校生・大学生インターンシップ「マッチング」(239人)、高校生事業所見学会(6月7日・15校363人) (3) 就職個別相談36回(59人)・支援セミナー21回(299人)、自立支援「カネリンク」及び保護者面談の実施による就職等19人、奨学金助成制度の検討(庁内会議2回) (4) 首都圏大学や県民学生寮の訪問及びLINE名刺配布(11、2月)、首都圏での地方就職説明会開催(2、3月)		
③ ○上田市版ハローワーク事業の推進 (1) 求職、労働相談、無料職業紹介の実施 (2) 企業の雇用維持・雇用創出支援と地域雇用情勢に係る情報の収集 (3) 求職者・勤労者の「スキルアップ」と企業の人材育成等支援(再就職支援「ハロー」セミナー、仕事の探し方講座、定年退職前後の手続きセミナー) (4) 勤労者福祉センターの改築等検討	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月	(1) 専門の相談員により相談を受け付け、関係機関と連携して支援を実施(200件) (2) 事業所訪問数400件(雇用・経営に関する課題を聴取) (3) 再就職支援「ハロー」セミナー24回、仕事の探し方講座12回、定年退職前後の手続きセミナー5回 (4) 勤労者福祉センターの改築等検討	(1) 求職・労働相談、無料就職紹介・就職支援(76件・うち就職先決定10件) (2) 事業所訪問数(208件)、雇用・経営に関する課題を聴取 (3) 再就職支援「ハロー」セミナー(12回)、仕事の探し方講座(6回)、定年退職前後セミナー(2回) (4) 勤労者福祉センターの移転・改築等検討	(1) 就職・労働相談、無料就職紹介・就職支援(146件・うち就職先決定12件) (2) 事業所訪問数(418件)、雇用・経営に関する課題を聴取 (3) 再就職支援「ハロー」セミナー(24回)、仕事の探し方講座(12回)、定年退職前後セミナー(5回) (4) 勤労者福祉センターの移転検討		
④ ○ものづくりキャリア教育による人材育成 (1) ものづくりキャリア教育推進検討委員会の開催 (2) 親子会社見学会、ものづくり体験教室等の開催 (3) 上田地域高等職業訓練センターとの連携	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 教育委員会と連携によるものづくり人材育成の支援策を研究・検討する会議を開催(1回以上) (2) 親子見学会(5社以上)、体験教室(1回以上)、地域企業経営者等による中学生ものづくり出前講座(通年) (3) 中学生ものづくり体験支援(1回)	(1) 教育委員会との打合せを実施、今後会議について検討 (2) 親子見学会(6社)、体験教室(1回) (3) 中学生ものづくり体験支援(10月に開催予定)	(1) 教育委員会との打合せを実施、今後会議について検討 (2) 夏休み親子見学会：4日間開催、参加者数180名、6企業、1大学にて実施 ものづくり教室：2回開催、参加者数25名、長野県工科短期大学校にて実施 (3) ものづくり出前事業：上田地域産業展にて開催、参加者数60名		
特記事項 ○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・就職活動の多様化に対応した、上田市版ハローワーク(上田市就労サポートセンター)におけるきめ細やかな求職相談、無料職業紹介の実施とともに、公的な支援団体だけでなくNPO法人や民間職業紹介(人材育成)事業者と連携し、より一層効果的な就職支援策を推進する。 ・高校生、大学生に対する地域企業に関する情報が、確実に学生のもとに届くよう、様々な手法を用いて発信する。	○取組による効果・残された課題 ・移住希望者に対する職業紹介により、地域企業との雇用マッチングが図られ、着実に移住につながっている。 ・学生の就職活動の多様化により、面接会や就活フェアへの参加者が減少化傾向にあることから、地域企業と学生との効果的な接触の機会をどう設けるかを関係機関と協議、検討する。 ・地域への定着が図られる奨学金返還支援制度の内容の検討					

重点目標	地方創生に向けた創業支援及び企業誘致・留置の推進		部局名	商工観光部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第1節 起業・創業支援と中小企業の経営力強化		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 1 上田で働きたい戦略 施策体系③若者等の多様な働き方の支援 ⑤多様な産業の集積促進		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(2) 支える財政基盤の改革 ア 歳入の確保					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生を推進する上では、仕事を作り・雇用機会の拡大を図る施策を推進していくが重要となります。 ・そのためには、民間活力を高め、若者など起業しやすい環境を整えることや、地域特性を活かした様々な産業が集積し成長する必要があります。 ・地域労働力の担い手として女性の社会進出も喫緊の課題であります。 ・インターネット社会において、働き方の多様化に対応するため、今後はテレワークについての可能性を研究する必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・起業支援や首都圏等からの創業者の誘致を行い、市内企業と創業者とのコミュニティ形成による異業種交流を推進し、新たな商品・産業の創出を目指します。 ・女性のための創業スクールや創業後のフォローアップ等を行い、事業の立ち上げの支援を行います。 ・工場誘致など雇用の創出や税収増による市内経済の活性化のみならず、市内製造業の高度化に寄与する研究機関や本社機能などの誘致を推進することで、市内企業活動の活性化を図ります。 					
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① ○創業プラットフォームによる創業支援 (1)創業プラットフォームを中心とした創業支援の充実 (2)女性の社会進出支援、女性の創業スクール (3)テレワークの推進 (4)ふるさと寄付金やクラウドファンディングを活用する創業支援の取組検討	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月 (4)4月～3月	(1)創業プラットフォームでの相談件数（300件）創業（30人）。創業支援事業計画の策定 (2)女性の創業者（5人） (3)テレワークの推進（サテライトオフィス誘致、事業所のテレワーク導入支援） (4)ふるさと寄付金やクラウドファンディングを活用する創業支援の取組検討	(1)創業支援の相談件数209件、創業25人 (2)子育て女性の雇用30人、女性の創業スクール参加者18人、ブラッシュアップミーティング3回開催（各回1人）。 (3)来年度に向け、サテライトオフィスの助成について検討、近隣市町村の視察等による研究 (4)クラウドファンディングを活用する創業者への支援について、研究、検討	(1)創業支援の相談件数430件、創業48人 (2)子育て女性社会進出促進事業による子育て女性の雇用34人、女性の創業スクール参加者36人、女性の創業スクール卒業生によるブラッシュアップミーティング3回開催、創業を目指す女性が集うミニウーマンミーティング参加者89人。 (3)来年度に向け、サテライトオフィスの助成について検討、近隣市町村の視察等による研究 (4)創業促進支援事業の一つとして、クラウドファンディング活用支援事業の創設。		
② ○地域の優位性を活かした企業誘致・留置の推進 (1)箱置工業団地の着実な造成と積極的なPR (2)宅地建物取引業協会との連携協定に基づく、市内の空き地、空き工場・事務所などの活用を推進 (3)工業団地内に設置している上田市技術研修センターや労働福祉施設のあり方について検討	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)アンケート等に基づく企業訪問及び大都市圏の県事務所への情報収集 (2)市内企業の工場・事務所等の設備や駐車場等の相談にきめ細かく対応、企業訪問（150社） (3)技術研修センターやサンワークのあり方についての検討	(1)事業所訪問31社 (2)宅建協会・金融機関への民有地照会9件、工場設置事業助成金3件申請、 (3)技術研修センターの利活用した新たな事業を研究、検討	(1)事業所訪問：52社 信州ビジネスフォーラムin東京へのブース出展 (2)宅建協会・金融機関への民有地照会：14件、工場等用地取得事業、工場等設置事業の優遇策を拡充するため、上田市商工業振興条例及び施行規則を一部改正、工場設置事業助成金：3件申請、 (3)技術研修センター利活用によるIT技術者育成事業を検討		
③						
④						
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			

重点目標	持続的な観光地を目指す「稼げる観光」の推進		部局名	商工観光部	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 誰もがいきいき働き 産業が育つまちづくり 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興		まち・ひと・しごと創生 総合戦略における位置付け	【戦略】3 訪れたい・住みたいうた戦略 【施策体系】①地域資源を生かした知名度アップと交流促進		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (イ)多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり (ウ) 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> これまで真田氏を最大限活用した様々な観光PR等の成果により、上田市の知名度は向上してきましたが、今後は更なる知名度向上のための取組みが必要となっております。 観光による経済的効果を高めるためには、滞在型・宿泊型の観光地を目指し、「稼げる観光」へ転換し、新たな観光資源の活用を進め、持続的な観光地を目指す必要があります。 2019年ラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、外国人観光客の誘客を強化するために、長野市と松本市とのトライアングル連携といった広域的な観光連携も重要な位置付けとします。 上田市の観光を牽引する組織として「一般社団法人 信州上田観光協会」の主体的な観光事業活動が、更に求められるものと考えます。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 真田氏の歴史ロマンの他にも、菅平や美ヶ原高原といった高原や、歴史ある温泉地、寺社仏閣、養蚕の産業遺産、特徴ある食文化、忍者等といった数多くの素材があり、これらの観光資源を有効的に活用することで、観光交流人口の増加に繋げ、観光消費額の増加を促進し、更なるスピード感を持った取組みを進めてまいります。 2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド施策として、「真田丸」が放送された台湾やタイ、ベトナムといった東南アジアを中心に、県や長野市、松本市、観光協会等との広域観光連携も含めた外国人誘客を強化します。 観光施策の更なる推進のため、「一般社団法人 信州上田観光協会」と、「信州上田まつり実行委員会」と連携しながら、様々な観光誘客のための事業展開を積極的に図ってまいります。 真田ブランドを活用することを継承し、大河ドラマを契機に発掘された「真田丸遺産」や、信州上田観光プレジデント・プリンセスをはじめ、真田氏ゆかりの観光資源を更に有効的に活用していきます。 					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○豊富な観光資源の活用とおもてなしの観光基盤整備 (1)観光誘客に係るソフト面での取組み ア 別所温泉をはじめとした地元観光関連団体との協働した観光誘客事業 (2)観光基盤整備に係るハード面での取組み ア 観光施設の必要な改修・修繕の実施 (北向観音裏観光トイレ改修等)	(1)-ア 通年 (2)-ア 観光施設の改修 ・観光トイレ改修は年度内 ・その他は通年	(1)-ア 観光PRキャンペーン 2回以上 観光PR媒体製作 2回以上 (2)-ア 北向観音裏観光トイレ改修 (年度内施行) 傷んだ看板等の改修修繕 (通年)	(1)-ア アツタ-DCオ-プニングイベント上田駅(7/1別所、鹿教湯と合同)MISSIONプレジデントからの指令ポスター・パンフレット製作 (春版・夏版) (2)-ア 別所温泉センター自動火災報知設備工事(8/10工事完了)北向観音裏観光トイレ改修工事 (10/5入札・10月中旬から施工開始予定) 観光看板の補修等実施 (塩田地区案内看板修繕等 7箇所)	(1)-ア アツタ-DCオ-プニングイベント上田駅(7/1別所、鹿教湯と合同)MISSION上田の魅力攻略せよ!で別所、鹿教湯、菅平等をポイント地として実施。スタッフ2つ3,655人、3つ以上1,533人。SNS活用による旬の情報発信(日本タウン誌・フリーペーパー-大賞優秀賞受賞)、クーポン付きグルメガイドブック改訂 (2)-ア 別所温泉現地視察(8月9日)及び地元会議参画 別所温泉センター自動火災報知設備工事(8/10工事完了) 北向観音裏観光トイレ改修工事(12/28 工事完了) 観光看板の補修等実施 (塩田地区案内看板修繕等 10箇所(前期7・後期3))	
②	○インバウンドの推進 (1)外国人観光客誘客促進 ア 外国旅行エージェントへのPR イ 海外での観光PRの実施検討 (2)外国人観光客受入体制の整備 ア 官民連携によるインバウンド事業の推進 イ 外国語版ホームページ、SNS運営 ウ 外国語観光パンフレットの製作配布	(1)-ア 通年 (1)-イ 通年 (2)-ア 通年 (2)-イ 通年 (2)-ウ 通年	(1)-ア 2回以上 (1)-イ 海外観光PR実施検討 (2)-ア インバウンドミーティングの開催 (2)-イ HP、SNS運営・更新随時 (2)-ウ パンフレット配布・設置	(1)-ア 外国旅行エージェントPR(VJトラベル等9/20~/22) イ 海外観光PR実施検討(ミテイングリーター協議5/25・9/10) (2)-ア インバウンドミーティングの開催(10月中開催予定) イ 外国語版HP、SNS運営(通年実施) ウ 外国語観光パンフレット製作配布(通年実施)	(1)-ア 外国旅行エージェントPR(VJトラベル等3回) イ 海外観光PR実施検討(ミテイングリーター協議5/25・9/10) タイITフェア(バンコク) 11/2~11/4 2018台北国際旅展 11/23~11/26 アニメ・フェスティバル・アジア・シンガポール 11/30~12/2 ファムトリップ(台湾等)等2回 9/30~10/4・1/22~/26) 訪日外国人向けフリーペーパー掲載(3回) (2)-ア インバウンドミーティング10/23、インバウンド研修会 1/11 イ 外国語版HP、SNS運営(通年実施) ウ 外国語観光パンフレット製作配布(通年実施) 軽井沢観光協会及び長野観光コンベンションビューローとの連携強化に着手	
③	○一般社団法人 信州上田観光協会の主体的な観光事業活動の推進 (1)法人運営及び観光振興の推進 (2)観光誘客宣伝事業の強化推進 ア 県外等での観光プロモーション事業 イ 信州上田おもてなし武将隊PR事業 ウ 法人体制強化(DMO等含む)の取組み	(1) 通年 (2)-ア 通年 (2)-イ 通年 (2)-ウ 通年	(1) 通年 (2)-ア 20回以上 (2)-イ 上田城での活動300回 (2)-ウ 研修会等参加3回以上	(1) 信州上田観光協会 理事会(5/23・7/3)、総会(5/31) (2)-ア 県外等での観光プロモーション事業 18回(4~9月) (アツタ-DC名古屋駅、熊谷B級グルメ、加賀百万石祭り等) イ 信州上田おもてなし武将隊PR事業 上田城での活動 175回(4~9月) ウ DMOシンポジウム研修会参加(7/27松本市)	(1) (2)-ア 県外等での観光プロモーション事業38回(前期18・後期20) (アツタ-DC名古屋駅、熊谷B級グルメ、たまプラーザ駅等) 誘客商談会参加4回、旅タビによる誘客325人、柳町を中心とする団体バス誘客約700台、町支援(兄消える等53件) イ 信州上田おもてなし武将隊PR事業 上田城での活動323回、県外キャンペーン12回 ウ DMOシンポジウム研修会参加(7/27松本市・3/18松本市)	

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
④	○真田ブランド等を積極的に活用した観光誘客事業の推進 (1)信州上田観光プレジデント・プリンセス事業の展開 (2)真田氏をコンセプトとしたイベントの開催 ア 「上田城千本桜まつり」 イ 「上田真田まつり」 ウ 「上田城紅葉まつり」	(1) 通年 (2)-ア 4月 (2)-イ 4月 (2)-ウ 11月	(1) 上田真田まつり出演 1回 ポスター製作配布 4回 観光キャンペーン 4回 (2)-ア 目標来場者数 30万人 (2)-イ " 10万人 (2)-ウ " 5万人	(1) 信州上田観光プレジデント事業 (上田真田まつり出演1回、ポスター・パンフ製作(春・夏)) (2)-ア 上田城千本桜まつり25万人 (2)-イ 上田真田まつり15万人 (上田城de夏フェスタ1.5万人)	(1) 信州上田観光プレジデント事業 (上田真田まつり出演1回、ポスター・パンフ製作(春・夏・秋・冬)) (2)-ア 上田城千本桜まつり25万人 (2)-イ 上田真田まつり15万人 (上田城de夏フェスタ1.5万人) 上田城紅葉まつり(戦国GIG凱初開催) 3.5万人
⑤	○広域観光振興事業の推進 (1)真田街道推進機構等との連携事業 ・真田氏関連自治体共同パンフレット (2)長野市、松本市との観光連携事業 ア 三市共同のノベルティ等の製作 イ 観光路線バス運行 ウ ウルトラ・オリエンテーリングの開催 (3)観光関係組織との連携 ア 新幹線上田駅観光案内所運営委員会 イ 定住自立圏 ウ 上田地域観光協議会(上田地域広域連合) エ 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議 オ 上信越道沿線地域連絡会 カ 信州シルクロード連携協議会 キ 温泉協会(上小支部等) ク 忍者協議会 ケ 関東観光広域連携事業推進協議会 コ その他	(1) 通年 (2)-ア 通年 (2)-イ " " (2)-ウ 4月、10月 (3)-ア 通年 (3)-イ " " (3)-ウ " " (3)-エ " " (3)-オ " " (3)-カ " " (3)-キ " " (3)-ク " " (3)-ケ " " (3)-コ " "	(1) パンフレット製作配布(通年) (2)-ア パンフレット等製作配布(通年) (2)-イ 上田-松本間観光路線バス運行(通年) (2)-ウ イベント開催(4月、10月) (3)-ア 駅案内所運営(通年) (3)-イ 合同観光キャンペーン1回以上 (3)-ウ " " (3)-エ サミット、研究会参加1回以上 (3)-オ 合同観光キャンペーン1回以上 (3)-カ " " (3)-キ 定例会議等参加1回以上 (3)-ク " " (3)-ケ " " (3)-コ 随時実施	(1) 真田街道推進機構パンフレット配布(総会・幹事会5/21) (2)-ア 三市共同パンフレット製作配布(合同クリアファイル製作) イ 上田-松本間路線バス運行(4~9月328便・1,791人) ウ ウルトラ・オリエンテーリング 上田→長野(4/14・参加者52人) (3)-ア 駅案内所運営(総会5/22・4~9月利用者数14,201人) イ 定住自立圏(合同キャンペーン8/25上里SA) ウ 上田地域観光協議会(総会5/24・合同キャンペーン8/17金沢) エ 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議(サミット7/17、幹事会5/17、研究会7/5) オ 上信越道沿線地域連絡会(総会6/28、合同キャンペーン8/25上里SA) カ 信州シルクロード連携協議会(総会4/18、合同キャンペーン10/20富岡製糸場予定) キ 温泉協会(上小支部総会6/22) ク 忍者協議会(総会6/20、定例会4/9、9/5) ケ 関東観光広域連携事業推進協議会(総会7/31) コ その他(しなの鉄道沿線協議会総会7/3、忍者学会9/8嬉野市、山城サミット9/23安来市)	(1) 真田街道推進機構パンフレット配布(総会・幹事会5/21、第2回幹事会10/3、第3回幹事会1/25) (2)-ア 三市共同パンフレット製作配布(合同クリアファイル製作) イ 上田-松本間路線バス運行(4~9月 328便・1,791人、10月~2月末 192便・991人 計520便・2,782人) ウ ウルトラ・オリエンテーリング 上田→長野(4/14・参加者52人) 松本→上田(10/14・参加者69人) (3)-ア 駅案内所運営(総会5/22・4~9月利用者数14,201人、10~3月利用者数10,356人 計24,557人) イ 定住自立圏(合同キャンペーン8/25上里SA、3/2上里SA) ウ 上田地域観光協議会(総会5/24、合同キャンペーン8/17金沢、3/16~17名古屋) エ 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議(サミット7/17、幹事会5/17、研究会7/5、研究会3/13) オ 上信越道沿線地域連絡会(総会6/28、合同キャンペーン8/25上里SA、3/2上里SA) カ 信州シルクロード連携協議会(総会4/18、合同キャンペーン10/20富岡製糸場、担当者会議3/8) キ 温泉協会(上小支部総会6/22) ク 忍者協議会(総会6/20、定例会4/9、9/5、1/18、3/11) ケ 関東観光広域連携事業推進協議会(総会7/31) コ その他(しなの鉄道沿線協議会総会7/3、忍者学会9/8嬉野市、山城サミット9/23安来市)
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

重点目標	中心市街地の活性化と中心商店街への回遊促進		部局名	商工観光部	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第3節 賑わいと活力ある商業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 3 訪れたい・住みたいうえだ戦略 施策体系 ①地域資源を生かした知名度アップと交流促進		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ウ 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗活用については、国の「まち・ひと・しごと創生基本方針」に地方創生推進交付金を含む重点支援や課税強化に関する仕組の構築などが明記されるなど、地域都市における稼げるまちづくりを推進しています。上田市中心市街地活性化基本計画においても、空き店舗数の減少（平成26年：30件→平成31年：27件）を数値目標として掲げていますが、空き店舗数は増加している状況にあります。 ・ラグビーワールドカップ2019日本大会に出場するイタリア代表チームが2018年と2019年に菅平高原でトレーニングキャンプを行うことが決定しており、菅平地区をはじめ市全体でイタリア代表チームを歓迎する機運を盛り上げていく必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化基本計画は5か年計画の4年目を迎え、創業支援や移住定住促進などとも関連付けた総合的な空き店舗対策を実施することにより、まちなかにおいて開業できる人材を育て創業を促すとともに、商店街全体の活性化と稼げるまちづくりを推進し、将来にわたるまちなかの賑わいと回遊につなげます。 ・ラグビーイタリア代表チームが来訪することを契機として、市の玄関である中心商店街においても、イタリア共和国をリスペクトする事業を実施し、歓迎機運を醸成するとともに、まちなかへの誘客と商店街の販売促進を図ります。 ・開館20周年を迎える池波正太郎真田太平記館の魅力発信と関係機関・商店街等との連携による市街地活性化の促進を図ります。 					
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① ○上田商工会議所と連携し、商店街及び関係団体の協力のもと、まちなか創業空き店舗活用事業を実施 (1)複合型チャレンジショップ（飲食業を中心に物販などでもできるショップ）の設置及び運営 (2)空き店舗情報バンク制度と連動した店舗賃借料補助の実施 (3)まちなか業種別アドバイザー制度の創設と実施 (4)空き店舗見学会の実施 (5)まちなか創業セミナーの開催	(1)7月～3月 (2)7月～3月 (3)7月～3月 (4)7月～3月 (5)7月～3月	(1)物件の選定、店舗改修、出店者の募集、選定、ショップの開店・営業 (2)賃借料補助の実施 (3)制度の創設とアドバイスの実施 (4)見学会の開催 1回以上 (5)セミナーの開催 3回	(1)出店場所を決定、店舗改修、出店者1件を決定 (2)店舗賃借料補助に係る交付決定 2件 (3)制度を創設、アドバイスの実施 1件 (4)見学会の開催 今後予定 (5)セミナーの開催 今後予定	(1)チャレンジショップ「豆の木」 海野町商店街の空き店舗を活用して12月にオープン 飲食店と女性グループによるクラフト店が営業中 (2)店舗賃借料補助の実施 3件 (3)アドバイザーによる相談 2店舗に対して5回実施 (4)空き店舗14店舗の見学会開催 11月に2日間開催 (5)セミナーの開催 3回		
② ○真田十勇士ガーデンプレイス等を拠点とする上田まちなか交流促進事業の実施 (1)真田十勇士ガーデンプレイスにおけるイタリアをテーマとする企画展示等の実施 (2)イタリアを学ぶ連続講座の開催 (3)商店街への歓迎タペストリー等の掲出をはじめ、ターポリン、懸垂幕、のぼり旗及び顔出しパネルの設置 (4)イタリア関連イベントの開催支援と商店街の販売促進支援 (5)真田十勇士ガーデンプレイスのあり方検討	(1)5月～7月 (2)5月～12月 (3)5月～7月 (4)4月～3月 (5)4月～3月	(1)企画展示の実施 (2)講座の開催 5回 (3)歓迎タペストリーなどの掲出 (4)イベント開催支援と販売促進支援 (5)真田十勇士ガーデンプレイスのあり方検討	(1)まちなかイタリア展 5～8月開催、まちなかロディ展 開催中 (2)イタリアの文化や言語などを学ぶ講座の開催 4回 (3)歓迎タペストリーなどの掲出 5～8月 (4)イタリア関連イベントやセミナーの開催 5回、イベント開催時における食の提供と優待券の配布 (5)真田十勇士ガーデンプレイスのあり方 今後検討	(1)まちなかイタリア展 5～8月開催、まちなかロディ展 8～11月開催 (2)イタリアを学ぶ連続講座の開催 5回 (3)歓迎タペストリーなどの掲出 5～8月 (4)イタリア関連イベントやセミナーの開催 5回、イベント開催時における食の提供と優待券の配布 (5)真田十勇士ガーデンプレイスのあり方検討 3年間の事業効果を検証し、今後の方針を決定		
③ ○上田商工会議所及びまちなかキャンパスうえだと連携し、商店街及び各個店に関する情報発信の充実 (1)中心商店街総合ウェブサイト「上田まちなか商店街」の情報更新 (2)上田まちなか商店街ホームページに掲載する店舗数の増加と各個店情報の更新 (3)SNSを活用した情報発信	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)定期的な情報更新 (2)情報収集、店舗情報の更新 (3)随時の情報発信	(1)開店・閉店などの店舗情報を更新 (2)掲載店舗数41店舗 5店舗増加 (3)フェスブックやツイッターによる定期的な情報発信	(1)開店・閉店などの店舗情報を更新 (2)掲載店舗数49店舗 13店舗増加 (3)フェスブックやツイッターによる定期的な情報発信		
④ ○池波正太郎真田太平記館の魅力発信と関係機関・商店街等との連携による市街地活性化の促進 (1)企画展・写真展などの開催による事業の充実 (2)空調設備改修による構内環境の整備 (3)周辺商店街との連携によるイベント開催	(1)4月～3月 (2)6月～12月 (3)4月～11月	(1)企画展・写真展 4回開催 (2)空調設備の改修 (3)イベント1回開催	(1)春の企画展 3/24～5/27 入館者数 3,926人、夏の企画展(開館20周年特別企画) 6/16～8/26 入館者数 4,057人、秋の企画展 9/8～11/25(開催中) 入館者数 1,262人(9月30日現在) (2)空調設備の更新 今後予定 (3)文学散歩計画済	(1)春の企画展 3/24～5/27 入館者数 3,926人、夏の企画展(開館20周年特別企画) 6/16～8/26 入館者数 4,057人、秋の企画展 9/8～11/25入館者数 4,566人 冬の企画展 12/8～2/24 入館者数 2,341人 年間入館者数 17,481人 (2)空調設備の更新完了 (3) 荘村清志コンサート 参加者数45名 文学散歩(法師温泉) 参加者数28名		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・上田商工会議所や商店街等と連携し、中心商店街への回遊促進とまちなかの賑わい創出を図ります。		○取組による効果・残された課題 ・ラグビーイタリア代表の菅平高原でのトレーニングキャンプをきっかけとして、イタリアをテーマに交流を促進するとともに、地方創生推進交付金を活用した「まちなか創業空き店舗活用事業」を新たに実施し、まちなかへの誘客と賑わいの創出に一定の効果があったと考えます。			